

先生は高校生 プログラム教室

蘇南高生が出張授業

南木曾

南木曾町
の蘇南高校

2年生4人がこのほど、南木曾小学校でプログラミングの出張授業をした。課題研究の授業の一環で、5年生29人の「先生」として一緒に簡単なゲームを作った。

2班に分かれて、それぞれ異なるゲーム作りを挑戦した。道筋に沿って猫のキャラクターをゴールまで運ぶゲームを作る班では、初歩的なプログラミングと座標など数学的な要素を見童に教えながら、パソコンでプログラムを組み立てるのを手伝った。



高校生が先生として児童を教えた
プログラミング教室

た。宇佐美慶汰君（17）は「難しいところもあったが、しっかりと聞いてくれる子ばかりで教えがいがあった。母校で先輩に教えられたのは良かった」と話していた。教わった5年生の鈴木富童君（10）は「自分でゲームを作り、さらにそれに手を加えて改造できるのがすごく楽しかった」と話していた。（降旗玲菜）